

とおかまち

Public Relations

市報



1 2019
/10

平成31年 1月10日号

No.322



特集

市長新春対談

(3～9ページ)

日本ビジネスシステムズ株式会社 社長 牧田幸弘さん

主な内容

2	年頭のご挨拶	20	タウンピックアップ
	ピックアップニュース		連載コーナー②
10	2018年の振り返り	22	地元サポーター通信
12	所得税、市民税・県民税の申告のお知らせ	23	お知らせ・ガイド
14	あしたのまち・暮らしづくり活動賞受賞ほか	31	ちびっこひろば／子ども情報のひろば
15	デジタル同報系防災行政無線の整備	33	健康・福祉相談、休日救急医など
16	平成31年度の各種健(検)診について		連載コーナー③
17	情報館への資料寄贈のお願い	34	熱中・夢中／小さな村の大きな物語
18	冬季うつ病について	36	ジュニア芸術祭
	連載コーナー①		
19	わたしの会社のいちおしワーカー		

始まる、
次の時代

選ばれて、住み継がれるまちへ

十日町市長 関口 芳史

年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。市民の皆さまには、日ごろより市政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は十日町市を世界に発信し、地方都市としてのプレゼンス（存在感）をさらに高めることのできた年でありました。

3年に1度開催する「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2018」は、国内外から過去最多となる約54万8千人のお客さまからお越しいただきました。中国北京や東京での企画発表会を積極的に行い、特にインバウンド観光客が増加したことは、この芸術祭が世界中で広がる都市と地方の格差軽減のための先進的な取組として、大きな注目を集めたことにほかなりません。大変ありがたいうちに、「2018年度グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）」をいただくことができましたし、アートの力で生まれ変わった清津峡溪谷トンネルは、会期終了後も人気が衰えず、過去最高の年間18万人近い入坑者数を記録しています。

さらに、開館1周年を迎えた「越後妻有文化ホール 段十ろう」をはじめとした中心市街地では、さまざまな催しにより多くの市民の皆さまの笑顔が溢れ、市外から新たな人の流れが生まれました。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、国宝・火焰型土器がフランス・パリの「ジャポニスム2018」や東京国立博物館に展示されたことは、大きな話題となりました。一方で、クローチア共和国オリンピック委員会との間で、待望久しい十日町市での事前キャンプ実施に関する協定の締結を行うことができました。

そして今年、私たちは平成から次の時代に歩みを進めます。これまでの実績に加えて、市民サービスの更なる充実を図るとともに、将来を見据えた事業の選択と集中による財政改革にも取り組んでまいります。

子育て世代からご要望の多かった児童遊園施設が今秋に完成します。また、2020年春の開校を目指す県立看護専門学校を含む医療福祉総合センターや、縄文文化を世界に向

けて発信するための新博物館の完成に向けて、着実に準備を進めてまいります。

また、中越地震の発生から15年の節目の年に「デジタル防災行政無線の整備に着手すること」で、市民の安全・安心をより高めるとともに、上越魚沼地域振興快速道路（仮称）十日町道路の実現を見据え、アクセス道路となる市道（仮称）高山水沢線の整備を推進します。

そして、いよいよ開幕が目前となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、日本が世界に誇る「縄文文化」や「きもの」などの伝統文化をはじめ、当市の魅力的な「食文化」や「おもてなし」などを積極的に発信し、「選ばれて住み継がれるまち」とおかまちの実現に全力で取り組んでまいります。

結びに、本年が市民の皆さま一人ひとりととりまして素晴らしい1年となりますよう心からお祈り申し上げ、新春のごあいさつとします。

十日町市に魅力を感じ、応援してくれる人と関口市長が対談をする恒例企画。今回のお相手は、日本ビジネスシステムズ株式会社社長である、牧田幸弘さんです。

牧田さんは十日町市松代地域の出身で、都内でコンピューター関連の会社を創業し、業界において国内有数の規模にまで成長させました。自身の今までの歩みを振り返りながら、起業に至ったチャレンジ精神、そして故郷に寄せる期待などを語っていただきました。 ※文中敬称略

十日町市で生まれ育ち、過ごした日々

市長―新春恒例となったこの企画ですが、今回が記念すべき10回目となりました。どうぞよろしく願います。それでは牧田さん、自己紹介してください、お願いします。

牧田―牧田幸弘です。よろしくお願います。

私は1957年に、現在の星峠集落（旧松代町峠）で生まれました。雪がたくさん降るところでしたが、4月になると春めいてきて、雪の間から「ふきのとう」が芽吹き出す景色を思い出します。

それから、峠小学校と奴奈川中学校（現在はいずれも閉校）で学び、その後松代高校

に進みました。高田高校に行こうかと考えたこともありましたが、下宿をしなければ通えないので松代高校を選びました。

市長―松代高校は現在と同じところにあったのですか。

牧田―そうです。松之山や十日町から通っている生徒もいて、クラスメートは多かったです。1クラス40人ほどで4クラスあり、学年で160人の生徒がいたと思います。冬は学校の近くの寮から通学している人もいました。

市長―昨年松代高校は創立70周年を迎え、記念式典が開催されました。そのとき牧田さんは記念講演をされて、私もお聞きしました。

牧田―母校の節目にそのよう

日本ビジネスシステムズ株式会社
代表取締役社長
牧田 幸弘

十日町市長
関口 芳史

取材協力：日本ビジネスシステムズ株式会社
対談写真：山田努（サンタ・クリエイト）撮影

十日町市から羽ばたき、 駆け抜けた日々 そして今、故郷に伝えたい思い

市長新春対談
第10弾



それまで縁のなかったコンピューター関連の会社を選ばれた。牧田さんは「先見の明」をお持ちでしたね — 市長

関口 芳史

Yoshifumi Sekiguchi

十日町市長

今のキャリアを作った就職での決断

市長―そして大学を卒業後は、IT企業に行かれた。牧田―はい。日本アイ・ビー・エム株式会社（以降、IBM）というコンピューター関連の会社に入社しました。市長―大学では理系学部だったのですね。牧田―いえ、私は法学部の学生でした。特段コンピューターについて興味があつたわけでもなく、就職活動を始めるときはコンピューター関連の会社へ就職しようとは、考えてもいませんでした。

当初は商社やメーカーなどの営業職を志望し、就職活動をしていました。ところが、あの当時、日本の大手商社が海外での石油コンビナート事業に失敗し、「商社冬の時代」と言われた時期でした。そんなとき、「これからはコンピューターの時代だ」という話を聞いて、コンピューター関連の会社に興味が湧いてきたのです。市長―牧田さんは「先見の明」をお持ちでしたね。牧田―そんな大層なものではないですよ。自分自身、コンピューターのことを全く知らなかったもので、それからコンピューターのことを調べ始めました。もちろん、国産のコンピューター会社にも興味はあつたのですが、「外資系の中でもIBMが世界のトップだ」という話を聞き、入社試験を受けることにしました。市長―それまで、コンピューターに興味がなかったとおっしゃっていましたが・・・。牧田―入社試験はプログラマーの適性を計るという知能検査が最初にあつて、その後



牧田 幸弘さん

Yukihiro Makita

日本ビジネスシステムズ株式会社 代表取締役社長

1957年十日町市峠（旧松代町峠）に生まれる。1975年県立松代高等学校を卒業。1979年慶應義塾大学卒業後、日本アイ・ビー・エム株式会社に入社。トップセールスとして8年間連続表彰を受けるなどコンピュータ営業として活躍。1990年に独立し日本ビジネスシステムズを創業する。徹底した顧客中心のサービスで企業の情報システムの設計から開発・運用までを行うシステムインテグレーターとして、国内外の大手企業から信頼を勝ち得ている。

JBS 日本ビジネスシステムズ株式会社

- 代表者＝代表取締役社長 牧田幸弘
- 設立＝1990年10月
- 資本金＝5億3,963万円
- 売上高(連結)＝498億円(2018年9月期)
- 社員数＝2,200人
- URL＝https://www.jbs.co.jp
- 事業概要＝ITソリューションを提供する独立系システムインテグレーター。先進のITテクノロジーを活用し、企業のデジタルトランスフォーメーションを支援している。



- ・マイクロソフトコーポレーションが選出し、マイクロソフトにおける2018年度に日本で1社に与えられる2018 Microsoft Country Partner of the Year受賞
- ・日本マイクロソフトが選出するマイクロソフトジャパンパートナーオブザイヤーを2013年より連続受賞（2018年はModern Workplace Transformationカテゴリ）
- ・マイクロソフト Gold コンピテンシー14カテゴリ保有

春になると、雪の間から「ふきのとう」が芽吹き出す景色を思い出します — 牧田

な機会をいただくことができ、とても光栄に思います。会場では懐かしい顔にも会うことができました。市長―高校時代は、相当勉強されたと同じでしたが・・・。牧田―遊ぶところがなく、勉強することしかなかったのかもしれませんね（笑）。当時はラジオの受験講座くらいしかなかったので、それを聞きながら勉強したり、通信添削などにも取り組んだりしていました。

初めての一人暮らし 楽しかった大学生活

市長―それから、大学に進まれたのですね。牧田―はい。慶應義塾大学に進むことができました。同時に、親元を離れて初めての生活がスタートしたわけです。市長―初めての都会暮らし、そして大学生活はいかがでしたか。牧田―たくさんの人と知り合うことができました。ただ、初めのころは「言葉」で少し苦労しましたね。それまでは

面接を行うとのことでした。これはまずいと思った私は、大急ぎで大学のコンピューターセンターに行き、専門の先生に頼み込んで大学のコンピューターを見せてもらいました。市長―試験対策を行ったわけですね。牧田―そうです。そこではものすごい速さで紙がプリントされていた。それを見て、私は先生に「コンピューターって早いですね」と言うと、「君、それはプリンターだよ」と言われました（笑）。そんな状況でしたが、何とか専門用語などを覚えて、入社試験に臨んだことを思い出します。

改めて振り返ると、あのとき商社やメーカーへ就職していたら、今の私も創業したこの会社もなかったわけです。そう考えると、この対談もなかったかもしれない。人生は、本当に数奇なものですね。

方言しか話したことがなかったで、それが恥ずかしくて。そんなストレスから解放してくれたのが、「慶應日吉寄宿舎」という大学が運営する学生寮での生活です。親から仕送りをもらっている身としては、大学の授業料もあるの、生活費を抑えられないかと考えていました。そんなとき学内で「寮生募集」の掲示を見つけたのです。家賃は下宿するより安い。これはいいいと思い、面接を受けて入寮が決まりました。寮生活が始まると、ともに生活を送るほかの学生たちと打ち解けて、一緒にスポーツをしたり、遊びに行ったりしました。毎日が楽しくて、初めに少なからず感じていたストレスは、すっかりどこかに消えてしまっていましたね。市長―一緒に生活をするわけですから、絆は深くなりますね。寮にはどのくらい入っていたのですか。牧田―結局、大学4年間お世話になりました。そこで築いた友人関係は、40年経った今でも続いています。

奮闘の日々で見つけた揺るぎのない理念

市長―IBMへ入社され、どんな部署へ配属になったのでしょうか。牧田―中小型コンピューターを扱う営業部門で、都内の中堅製造業の担当となりました。関口―新規開拓もされたわけですね。牧田―はい。ですがコンピューターは高価ですので、新規開拓は難しかったです。入社してから2年間は、先輩たちに助けてもらって、何とか乗り切ったという感じです。

ただその間、苦労もしましたが、営業マンとしての基盤をしっかりと身に付けることができた時期でもありました。専門知識はもちろん、本屋に立ち寄っては、ほかの業界のトップ営業マンが書いた本などを見つけては読み、自分なりに研究をしました。その時期に読んだ本は数百冊にもなったと思います。すると、さまざまな業界のトップ営業マンに共通する特



辣腕などでなく、お客さまのことを第一に考えた「カスタマーファースト」を実践してただけです。それが実を結んだとき、本当にうれしかった — 牧田

揺るぎのない理念を信じて独立

牧田―しかし、私は30歳のころから独立を考え始めるようになりました。そして1990年、33歳のときにIBMを退社し、日本ビジネス

せんね。優秀営業マンの表彰として、妻同伴で海外のパティなどに参加させてもらうこともありました。会社からは大事にされているなど感じましたし、今の私の礎を作ってくれたわけですから、IBMには本当に感謝しています。

市長―お客さまの要求に十分に答えられていないと、考えられたのですね。
牧田―そうです。それで、独立してマルチベンダー（複数のメーカーの製品を販売する形態）を実践したいと考えるようになりました。

市長―独立し、起業された当初は、どんな規模からスタートしたのですか。
牧田―私1人、雑居ビルの一角を借りて、本当に小さい事務所からのスタートでした。いつまでも1人では仕事になりませんので、エンジニアや

営業など、少しずつ社員を増やしていきました。
市長―「カスタマーファースト」の理念を第一に考えた「カスタマーファースト」を実践してただけです。それが実を結んだとき、本当にうれしかった — 牧田

市長―お客さまの要求に十分に答えられていないと、考えられたのですね。
牧田―そうです。それで、独立してマルチベンダー（複数のメーカーの製品を販売する形態）を実践したいと考えるようになりました。

市長―お客さまの要求に十分に答えられていないと、考えられたのですね。
牧田―そうです。それで、独立してマルチベンダー（複数のメーカーの製品を販売する形態）を実践したいと考えるようになりました。

徴があることがわかってきました。営業が売りたい製品を、とことん説明するよりも、満足したお客さまからの紹介が実際の取引に結び付くということです。
市長―お客さまにしても、製品を実際に使用して満足した人から紹介されているということですから、信用も違ひますよね。
牧田―実際に、紹介を受けた企業へ伺ってみたときは、すぐに取引を始めていただくことができました。ですが、いつまでも紹介に頼っているわけにもいかず、飛び込みの新規開拓でも、契約を取ってこなくてはなりません。そんなとき、遂にコツというべきか、自分の理念というものを見つけてきました。それは、お客さまのことを第一に考えたサービス、「カスタマーファースト」を実践することです。

ほうが良い」と言っても、説得力はありません。ですから、初めは「お客さまの困りごと」をお聞きするのです。
市長―それが、何かきつかけを生むわけですね。
牧田―もしお客さまのニーズとIBM製品が合致しないのであれば、そこで無理に勧めることはありません。「その問題でお困りでしたら、お客さまが現在ご利用のメーカーから新しい製品が出ていますので、そのメーカーの営業マンを呼んで相談されたほうが良いですよ」と、あらゆる面でそのお客さまにとってベストと思えることを進言しました。
市長―IBMの営業マンとしては、考えられない対応だったのではないですか。
牧田―そうかもしれません。普通は売れるところへ伺って契約を取る、ということが効率的ですから。ですが、私は今取引に結び付くお客さまだけでなく、そうではないお客さまにも通いました。たとえ今取引がなくても、この先ご縁があったときにすぐ対応できるようにするためです。

それらは全て「カスタマーファースト」の理念でした。そんなことを続けてきたある日、大きい新規の契約をいただくことができたのです。社内で「どんな辣腕営業を行ったのか」と話題になりましたね。実際には辣腕などではなく、お客さまの困っていることの解決を助けるという「カスタマーファースト」を地道に実践してきただけです。
市長―今の言葉、正に金言であると思います。私もこれを実践しなくてはなりません。
牧田―こうして、営業3年目くらいから結果が出るようになりました。お世話になったお客さまからの紹介で、新しいお客さまから予想もしていなかった大きい新規契約をいただくことができました。「カスタマーファースト」が実を結び、本当にうれしかったですね。それから、8年連続で売り上げトップの座を維持することができました。
市長―会社からすれば手放したくない、絶対的エースであったのではないですか。
牧田―確かにそうかもしれま



対談会場となった「Lucy's CAFE & DINING」(詳細後述)からは、東京タワーほか、都内の景色が一望できます



十日町市は皆さんの努力で美しい里山が守られている。後世に残すために、さらにこの魅力を磨いていかなければなりません — 市長

牧田— 柵田と言え、私が子どものころに目にしていた風景と、今帰省して目にする柵田の風景は、全く変わっていませんね。

市長— 開発で豊かな自然が失われる、また後継者がおらず荒廃するというところもある中、ここは皆さんの努力で美しい里山が守られている。これは素晴らしいことだ、後世に残すためにも、さらにこの魅力を磨いていかなければならないと感じています。出身者として、今の十日町市をどのように感じていますか。

牧田— 数多くの産物、豊かな自然、そして雪。「大地の芸術祭」をはじめとして、特徴を生かしたまちづくりを進められていますね。これは、関口市長のリーダーシップのたまものだと思います。

市長— ありがとうございます。また課題もたくさんありますが、牧田さんから高い評価をいただいたことは、市民の皆さんの誇りになります。牧田— 合併もありましたが、それぞれの良いところをうまく生かしていると思います。

これからは、特色ある自治体づくりを進めることが必要ではないのでしょうか。財政的な豊かさも大切だとは思いますが、それだけで夢や希望のあるまちづくりが実現するわけはありません。関口市長のおっしゃるとおり、磨くべきものをしっかりと磨く。そんな魅力ある十日町市を、築いていってほしいです。私も十日町市の出身者です。これからも我が故郷を、できる限り応援させていただきます。

市長— 牧田さんの期待と力強いメッセージ、とても励みになります。これからも、故郷十日町市への応援を、よろしくお願いします。



ツールド妻有

す。その結果として、会社の業種も順調に伸びています。

故郷十日町市の発展に期待を寄せて

市長— 十日町市の子どもたちへ向けて、エールをいただけたらと思います。

牧田— 十日町市は半年近くが雪に囲まれるという自然環境ですが、それが「人のために働く」、「目標に向かって我慢強く努力する」という、十日町市の人たちの長所を育んだのではないのでしょうか。一方

で、慎まし過ぎるところがあるように感じます。特に若い人は、やりたいことにチャレンジするという気持ちが大切だと思っています。チャレンジした結果、失敗することもあるでしょう。しかし、3回失敗しても、4回目には成功するかもしれない。そしてその失敗も経験として残ります。そんな気概で、何事にも挑戦していってほしいです。

市長— 牧田さんからは、「大地の芸術祭」にもご支援をいただいています。特に「ツールド妻有」では、開会式やエ

イドステーションで応援もしていただいています。

牧田— 弊社にはクラブ活動として自転車部があり、「ツールド妻有」には部員が多く参加させていただいています。エイドステーションでの地元の人とのふれあいも楽しいです。出場者がお揃いの黄色のユニフォームで走る姿も緑豊かな里山に映えてきれいで、とても素敵なイベントだと感じています。

市長— 参加者も走りながら柵田など、越後妻有の自然と出会うことができます。

市長— 現在、本社オフィスは虎ノ門ヒルズにあり、本日この対談でも使用させていただいている、社員食堂「Lucy's CAFE & DINING」(下段参照)が、話題になっていると伺いました。

牧田— 私は会社のさらなる発展と、より良いサービスの提供のために、社員同士のコミュニケーションが必要不可欠と思っています。ところが、日中お客さまのもとへ伺って仕事をこなし、夕方にオフィスへ戻って来る社員も多い。それからでは場所も時間も限

成長のヒミツは

社員食堂にあり — 十日町産食材も大活躍

「ト」があったからこそ、創業から短期間にここまで発展されたのではないのでしょうか。

牧田— おかげさまでJBSは創業29年目を迎え、現在も成長を続けています。これから、お客さまのことを第一に考え、お客さまに満足していただけるよう、サービス向上にまい進していきます。

市長— 現在、本社オフィスは虎ノ門ヒルズにあり、本日この対談でも使用させていただいている、社員食堂「Lucy's CAFE & DINING」(下段参照)が、話題になっていると伺いました。

牧田— 私は会社のさらなる発展と、より良いサービスの提供のために、社員同士のコミュニケーションが必要不可欠と思っています。ところが、日中お客さまのもとへ伺って仕事をこなし、夕方にオフィスへ戻って来る社員も多い。それからでは場所も時間も限

きつかけに、十日町産魚沼コシヒカリを納入していただくことになり、さらに妻有ボークやアスパラなども納めていただいています。私も故郷十日町市の産業に少しは貢献でき、とてもうれしいです。

市長— どれも十日町市が誇る、最高の食材です。しかし、ここまでこだわらなければ、コスト面でのバランスはいかがですか。それを補う、会社の業績への効果があるのですか。

牧田— 確かに、コストは高くなりますが、ご飯1膳で考えれば大した差ではありません。それよりもおいしさ、満足度が全く違う。これで社員のコミュニケーションが弾み、仕事の活力につながるのならコストは問題ではないと考えました。実際、前よりたくさん食べてもらえるようになり、今では毎月1トンもお米を納入していただいています。

そして、社員食堂を開設して、社員の満足度が向上しただけでなく、ご来社いただいたお客さまにも大変好評で

Lucy's
CAFE & DINING
について

本社以外でも、さまざまなところで働くJBS社員。そんな中でも、社員が実際に顔を合わせてコミュニケーションができるよう、“人が集まりたくなる場所”として開設されたのが、JBSの社員食堂「Lucy's CAFE & DINING」です。

ランチタイムの様子

ディナータイムの様子

終日カフェとして利用可能で、ランチタイム・ディナータイムにはリーズナブルな価格で食事が楽しめます。また、くつろげるようデザインされた空間が、大切なコミュニケーションの時間を演出します。

※一般の人の利用は、JBS社員の同伴や紹介が必要です

2018年の振り返り

市のプレゼンスをさらに高めた1年となりました

問合せ：企画政策課広報広聴係 ☎757-3112

2018年は、待望の「第7回大地の芸術祭」が開催され、国内外から過去最多となる来訪者が当市を訪れました。また、国宝・火焰型土器がフランス・パリや東京国立博物館で展示されるなど、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、縄文文化の魅力発信を行い、地域のプレゼンス（存在感）を大きくアピールすることができた1年となりました。

1月

- 川西地域「交通死亡事故ゼロ2,000日」達成（1日）
- 上沼道「十日町道路」のルート帯決定（10日）
- 「分じろう」と「十じろう」の来館者数10万人を突破（15日）
- 「天皇杯第96回全日本スキー選手権大会クロスカントリー競技」開催（26～28日）
- 川西地域に豪雪にかかる災害救助法が適用（14日～23日）※豪雪対策本部は未設置

2月

3月

- 「十日町市子育て世代包括支援センター」「十日町市子ども家庭総合支援拠点」設置（1日）
- 屈折はしご付き消防ポンプ自動車運用開始（1日）^①
- 「十日町市歴史文化基本構想策定記念講演会」開催（講師：国井雅比古氏）（14日）
- ヴェオリア・ジェネッツ㈱十日町営業所との見守り活動に関する協定を締結（19日）
- 「十日町簡易裁判所・新潟県家庭裁判所十日町出張所」開庁式（20日）
- 日本郵便㈱との「とおかまち応援寄附金を利用したサービスの取組に関する協定書」締結式（26日）^②
- 株式会社ゼンリンとの「災害時応援協定」締結式（26日）
- 十日町市ふるさと生活体験交流館（旧おふくろ館）の民間への譲渡（30日）
- 「新潟県立川西高等学校」閉校（31日）

4月

- 「休日救急診療センター」慈恵医大医師の参画拡大（1日）
- 「骨髄等移植ドナー支援事業」、「産婦健康診査事業」、「妊婦歯科健康診査事業」開始（1日）
- 「中里なかよし保育園」、「まつだい保育園」民営化開始（1日）
- 川西地域子育て支援センター「えくぼ」、中里地域子育て支援センター「きらりん」、松代地域子育て支援センター「すくすく」民営化開始（1日）
- 「新潟県立小出特別支援学校川西分校」が「新潟県立川西高等特別支援学校」として開校（1日）
- 市営バス六箇線運行開始（2日）
- 「十日町市地域支援員制度」運用開始（地域支援員初任用）（2日）
- 「きものの匂ふ街 十日町きもの月間2018」開催（9日～5月27日）^③
- 医療施設整備等支援事業を活用し、大湊内科クリニック開業（16日）
- 清津峡溪谷トンネルリニューアルオープン（グランドオープン：7月29日）（28日）^④
- 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2018記者発表in北京（中国北京 CHAOホテル）（8日）^⑤
- 全国初きもの工場見学イベント「～職人探訪～ 十日町きものGOTTAKU」開催（17日～19日）^⑥
- 「NHK みんなDEどーもくん！」公開番組 主催（27日）

5月

- 「とおかまち健康ポイント事業」開始（1日）
- 松代地域気象観測所委託観測業務が気象庁長官表彰（1日）
- 新潟県知事選挙（5月24日告示）（10日）
- 「葛飾区宝木塚・十日町交流会20周年記念 感謝の会」開催（16日）
- 新潟県立松代高等学校 創立70周年記念式典（23日）

6月



①



②



③



④



⑤



⑥

7月

- 東京国立博物館 特別展「縄文ー1万年の美の鼓動」で笹山遺跡出土品・野首遺跡出土品を展示（3日～9月2日）^⑦
- クロアチアホストタウン推進事業「クロアチアウィーク」を実施（7日～16日）^⑧
- ジャポニスム2018「深みへ」展で国宝・火焰型土器No. 5を展示（パリ・ロスタイルド館）（13日～8月22日）
- 「デジタル同報系防災行政無線」整備開始（平成32年度までの3か年計画）（18日）
- 大蔵寺高原キャンプ場が株式会社スノーピーク監修キャンプ場としてリニューアルオープン（21日）
- 「大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ2018（第7回展）」開催（29日～9月17日）^⑨
- 「節電エコポイント事業」開始（対象期間：7月～9月）

8月

- 「核兵器廃絶平和都市宣言」記念碑除幕式（原水爆禁止十日町市協議会設立60周年記念事業）（6日）
- インフラメンテナンス大賞の優秀賞を受賞（ヒートライナー工法：小口径下水道管路を補修しながら熱を利用する技術）（9日）
- 株式会社スノーピークと「観光振興ならびに産業振興に関する包括連携協定」を締結（28日）^⑩

9月

- 「上沼道建設促進フォーラム」開催（1日）
- 「ヒバクシャ国際署名」市長を含め1,777人分をヒバクシャ国際署名連絡会へ提出（原水爆禁止十日町市協議会設立60周年記念事業）（4日）
- 林芳正文部科学大臣に信濃川火焰街道連携協議会で要望書提出（関口市長参加）（13日）
- クロアチアホストタウン推進事業「クロアチアフェスタ」を実施（14日～10月14日）
- クロアチア共和国オリンピック委員会の視察招聘（19・20日）
- 「十日町市みんなの心をつなぐ手話言語条例」施行（議会発議）（28日）^⑪

10月

- 「『新潟県の名水』サミットin十日町」開催（10日）^⑫
- 小規模多機能型居宅介護「とこしえりあん」竣工式（11日）
- ジャポニスム2018「縄文ー日本における美の誕生」展で国宝・火焰型土器No. 1を展示（パリ日本文化会館）（17日～12月8日）
- 医療施設整備等支援事業を活用し、十日町中央クリニック開業（17日）
- 新潟県立川西高等特別支援学校開校記念式典（27日）
- 段十ろう開館一周年記念「春風亭昇太 林家木久扇二人会」開催（27日）
- 「大地の芸術祭」の取組みが「2018年度グッドデザイン金賞」を受賞（31日）

11月

- 市道伊友東浦線「友重橋」完成（渡初め）（4日）
- 「北越保育園新園舎」竣工式（11日）
- 段十ろう開館一周年記念「黒柳徹子 講演会」開催（14日）
- 市街第12計画区（錦町ほか）、市街第13計画区（寿町ほか）の地籍調査事業が完了（19日）
- 駐日イタリア大使館主催「第三回世界イタリア料理週間」に「イタリアンフェアin十日町」を開催（19日～25日）
- 日本郵便㈱と「十日町市内郵便局との包括的連携協定」締結式（26日）
- クロアチア共和国オリンピック委員会との事前キャンプ実施に関する協定書締結式（27日）^⑬
- 「市営八幡田住宅B棟の長寿命化改修工事」完了（屋上防水等の改修）（30日）

12月

- 「高山保育園」リニューアルオープン（3日）^⑭
- 「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰（活動名：中条小学校地域学校協働活動）（3日）
- 一級河川梅鉢川改修・災害復旧工事竣工（市道橋 川端橋^{こしよなえ}・五升苗橋復旧工事含む）（7日）
- 主要地方道 十日町当間塩沢線「当間トンネル」「新野中橋」開通（26日）

B 市民税・県民税の申告が必要です

申告受付期間に合わせて申告相談会を開催します。希望する人は各会場に直接来場してください。各会場の地区割は市報2月10日号に掲載する予定です。

毎年、相談会場は混雑します。待ち時間短縮のため、事前に収支内訳書や医療費控除の明細書などの作成をお願いします。申告に必要な書類は1月下旬以降、市役所・各支所に配置します。

●日程

会場	期間（土・日曜を除く）
十日町保健センター（市役所本庁舎隣）	2月18日(月)～3月15日(金)
川西支所	3月12日(火)～3月15日(金)
中里支所	2月19日(火)～2月22日(金)
松代支所	2月26日(火)～3月1日(金)
松之山支所	3月5日(火)～3月8日(金)

各会場とも { 受付時間：午前8時45分～11時30分、午後0時45分～3時30分
相談時間：午前9時～12時、午後1時～4時

●申告時に必要なもの

対象	必要書類など
申告者全員	印鑑、マイナンバー確認書類および本人確認書類、所得税の還付を受けるときは申告者名義の金融機関口座がわかるもの
所得に関するもの	給与・年金所得者 源泉徴収票（コピー不可）、支払証明書 事業（営業・農業）・不動産所得者 収支内訳書（収入金額と必要経費がわかる書類） 雑・一時所得者 収入金額と必要経費がわかる書類
控除に関するもの	社会保険料控除 国民年金保険料控除証明書、領収書、社会保険料控除証明書など 生命保険料控除 控除証明書 地震保険料控除 医療費控除 医療費の明細書や領収書など 障害者控除 障害者手帳や福祉事務所長などが発行した認定書など 寄附金控除 寄附金の領収書または証明書

申告書は郵送などで提出できます
ご自身で申告書を作成した人は、申告書に必要な書類を添付して、郵送か市役所窓口（税務課または支所市民課）に提出することができます。

【郵送での提出先】
〒948-8501 十日町市役所 税務課

次の内容の申告相談は十日町税務署へ

- ・特定支出控除を受けるときの給与所得の確定申告
- ・株式、土地（収用を除く）など譲渡所得の確定申告
- ・先物取引、仮想通貨取引など雑所得の確定申告
- ・住宅借入金など特別控除の確定申告（適用初年度、増改築）
- ・損失の繰越控除の確定申告
- ・雑損控除の確定申告
- ・青色申告
- ・亡くなった人の確定申告
- ・平成29年分以前の確定申告

収入がなかったまたは非課税所得のみの人
平成30年中に収入がなかった人、遺族年金や障害年金などの非課税所得のみの人、市民税・県民税の申告をお願いします。申告書の提出がないときは、国民健康保険や介護保険などの算定などで不利益が生じることもありますので、ご注意ください。

申告の事前相談会を開催します

収支内訳書や医療費の明細書など申告書類の作成に困っている人を対象に、事前相談会を開催します。希望する人は各支所市民課に日時・内容などを伝え、必ず相談予約をしてください。青色申告をする人は、十日町税務署または近くの青色申告会に相談してください。

●相談時間＝午前9時～12時、午後1時～4時

会場	開催日	予約・問合せ先
川西支所	2月7日(木)、8日(金)	川西支所市民課 (☎768-4956)
中里支所	1月30日(水)、31日(木)	中里支所市民課 (☎763-3121)
松代支所	2月1日(金)、4日(月)	松代支所市民課 (☎597-2221)
松之山支所	2月5日(火)、6日(水)	松之山支所市民課 (☎596-3152)

●必要なもの＝営業・農業・不動産の収入および必要経費の分かる書類、医療費の領収書
※申告書の作成について相談する人は、源泉徴収票など申告に必要な書類を持参してください



所得税、市民税・県民税の申告のお知らせ

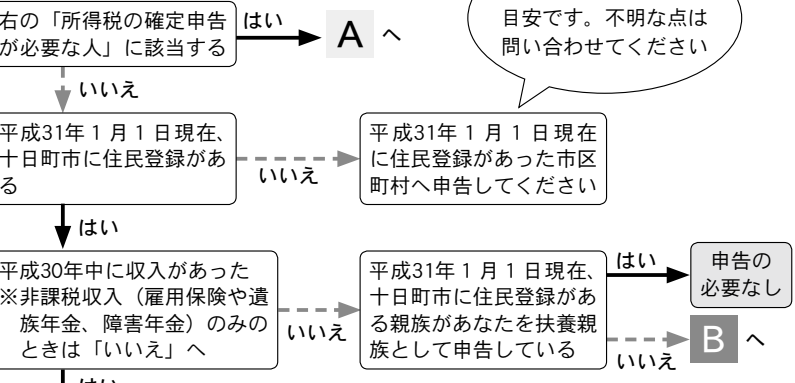


早期からの準備で、確実な申告を

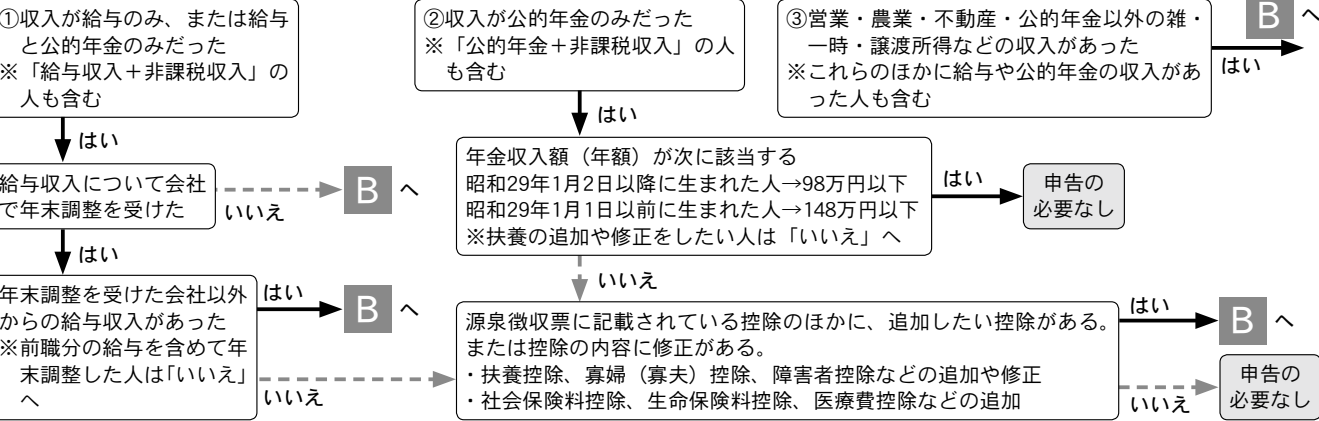
●●●●●問合せ：税務課市民税係 ☎757-3716

申告が必要か確認してみましょう

スタート



●平成30年中の収入について、次の①～③のうち該当するものを選んでください



A 所得税の確定申告が必要です

【所得税などの確定申告会場】

会場	受付期間・時間（土・日曜除く）
十日町税務署 1階特設会場	2月18日(月)～3月15日(金) 受付：午前8時30分～午後4時 ※相談は午前9時～午後5時

問十日町税務署 ☎752-3181（自動音声案内）

確定申告書の作成は
国税庁ホームページで

国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」で申告書などが作成できます。作成した申告書は、電子申告（e-Tax）や郵送で提出できます。確定申告会場は大変混雑し、長時間お待ちいただくときがありますので、ぜひ利用してください。

詳しくは **国税庁** でインターネット検索！

【税理士による無料相談】

少額な申告相談および申告書の作成を無料で行います。必ず事前に電話連絡してください。内容によっては低額の料金が必要になることもあります。

※表中敬称略

2月	氏名	所在地	電話番号
5日(火)	和久井 工	本町6の1	☎752-2073
	金沢 正文	水沢第3	☎758-2795
	今出川 景	千歳町3	☎757-3151
	高橋 昇男	美雪町3	☎757-8750
6日(水)	村山 亮太	西本町3	☎752-3122
	酒井 栄一	西本町2	☎757-8421
	水落 信市	寿町2	☎757-2548
	高橋 正也	本町西1	☎757-2144
7日(木)	渡邊 修	本町6の1	☎752-2073
	高橋 敦	西本町3	☎752-3122
	大口 康幸	津南町	☎765-2542
	水落 雅史	寿町2	☎757-2548
	尾身 信幸	西本町2	☎757-8421

●電話受付時間＝午前9時30分～午後4時

問関東信越税理士会十日町支部 ☎757-8421



デジタル同報系防災行政無線の整備



迅速で確実な情報伝達で安全・安心な暮らしを守ります

●●●●●問合せ：防災安全課防災安全係 ☎757-3197

なぜ？ 整備をするのか



今後も定期的にお知らせしていきます

市報8月10日号8ページでもお知らせしましたが、市はデジタル同報系防災行政無線の整備を進めています。今号では、この設備の整備計画などについて説明します。

多種多様な災害が発生する昨今、緊急時に迅速で確実な情報を全地域に伝えることは、市民の生命や財産を守るに不可欠です。

※これに伴い、現在一部地域で運用されているアナログ同報系防災行政無線は廃止します



主な設備の整備計画

※整備完了した地域から順次運用を開始します

設備名称	設置場所（設置数）	設備概要	整備年度		
			2018年(H30)	2019年	2020年
親局	市役所本庁舎（1局）	設備を制御し、中継局と本庁舎周辺地域へ電波を送信			
中継局	中里城山（1局）	親局からの電波を中継し、市内全域へ電波を送信			
再送信子局	中仙田、清津峡、松代、浦田（計4局）	中継局から電波が届かない地域へ電波を送信			
屋外スピーカー	十日町27、川西16、中里8、松代15、松之山11（計77基）	電波を受信し情報を放送（定時放送・緊急情報のみ）			
戸別受信機	全世帯、事業所（約20,000台）	電波を受信し情報を放送（一般行政情報も放送可）			



【戸別受信機】

市内の全世帯、全事業所に無償貸与する予定です。配布方法ほか詳細は、別途お知らせします。現在配置されている防災ラジオも、引き続き使用します。



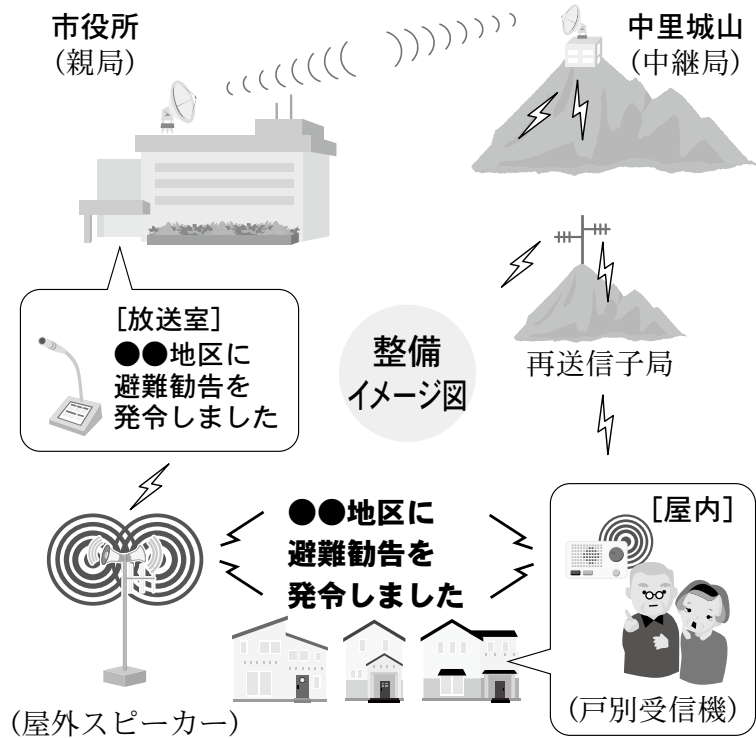
【屋外スピーカー】

主に学校施設や公民館、集会所などを中心に選定し、順次設置します。工事期間中は工事車両の通行や作業音の発生などがありますが、ご理解ご協力をお願いします。



整備に関するお願い

※写真はイメージ



あしたのまち・暮らしづくり活動賞受賞ほか



中手集落の取組みが評価されました

●●●●●問合せ：企画政策課協働推進係 ☎757-3693

出身者も仲間になっている中手地域づくり会の皆さん



吉田地区の中手集落は、7世帯9人の集落です。平成27年から「中手地域づくり会」を発足し、集落を存続させる活動に取り組んでいます。

同会のこれまでの取組みが実を結び、全国的な賞を受賞したり、集落内の資源が評価を受けたりしています（詳細は、市報12月10日号35ページに掲載）。



全国的な賞を受賞しました

中手地域づくり会が、平成30年度あしたのまち・暮らしづくり活動賞「振興奨励賞」を受賞しました。

同会は、集落地内にある「黒滝」の整備、里山交流コンサートの開催、集落の歌「愛しの中の手」の制作、中手集落パネル展「7世帯の集落でもできること」の開催、中手の風景の切手シート発売など、発足当初から精力的に活動してきました。

今年は、大地の芸術祭の作品「Welcome」の作品誘致から制作協力まで注力し、さらには「新潟県の名水」認定の活動と、集落住民の気持ちの変化や集落への人の流れの動きを作ってきました。これらの取組みが認められ、名誉ある賞を受賞されました。江村元吉さん（中手地域づくり会代表・72歳）は、「若者や子どもがいなく、過疎化が進んでいく中で、何とか地域を知ってもらいたいという思い



中手集落にある「中手の松茸清水」が新潟県の名水に選定されました

で活動したことが評価されて大変うれしいです。今後も力が続く限り活動を続けたいです」と意気込みました。

昨年10月10日に当市で開催された「新潟県の名水」サミットin十日町」で選定書が授与されました。

中手集落は、各戸が湧水や横井戸を持つ水に恵まれた地域ですが、この中手の松茸清水はその中でも最古のものでありながら、300年以上枯れていないと言われている。湧出量は毎分6リットル、水温は夏でも9度前後で、集落で水質検査を実施し、水くみ場を整備するなど、市内外から水くみに訪れる人を歓迎しています。

新潟県の名水は、水質や湧出量、保全活動の状況や利活用の可能性、地域の熱意など、さまざまな項目を総合的に評価したうえで、県から選定されるものです。江村元吉さん（82歳）は、「子どものころから飲んで育ってきた水。自分の家の水もあります。この水の良さにはかきません。私たちがとって身近な水が名水に選ばれたことは、とてもうれしいです」と喜びをかみ締めていました。

※冬季は閉鎖しています



情報館への資料寄贈のお願い



お持ちの本やCDを大勢の人とシェアしませんか

問合せ：情報館 ☎750-5100

- ・古い百科事典
- ・カビなどの汚れ、書き込みや破損がある本
- ・古い実用書やガイドブック
- ・市販のビデオやDVD（内容が地域に関するものは可）
- ・情報館に複数冊所蔵している資料

✕ 受け付けできない資料

CD（音声資料）	各種雑誌	概ね2年以内に出版された本	地域に関する本
音楽、落語、朗読など	少なくとも1年間は継続して寄贈をしてください	話題の本、人気作家の本など	・十日町市や新潟県出身の人が書いた本 ・十日町市や新潟県で発行された本 ・十日町市や新潟県に関する内容、または関係ある人物のことが書かれた本（例：集落史や町内会史、団体史や周年記念誌など）

○ 積極的に集めている資料

情報館では、本や雑誌、個人・地域で出版した本の寄贈を受け付けています。音楽、落語などのCDも大歓迎です。寄贈いただけるときは、事前に情報館へ相談してください。



留意事項

寄贈資料の取扱いについて

- 原則として、資料は情報館まで持参してください
 - 受け入れについては、情報館の資料収集方針や蔵書構成に基づいて決定します
 - 寄贈後の資料の処分については、情報館に一任していただきます（リサイクル本市での活用・他機関への譲渡・廃棄など）。
- また、返却やお問い合わせには応じられません



企業や団体から、情報館の雑誌の年間費用を支払っていただく制度です。提供いただく雑誌の新刊カバーに、スポンサー名と広告を載せることができます。雑誌は貸出しだけでなく、館内でもよく読まれることから、広告は大勢の利用者の目にとまります。企業や団体のPR、イメージアップも兼ねて、参加しませんか。



「まとまった冊数の新刊書を寄贈したい」というとき、どのような本が良いか、情報館で相談に応じます。例えば、絵本や児童書、文字が読みにくい人のための「大活字本」、国際理解を深めるための本など、さまざまなジャンルや種類があげられます。何かの記念や機会に、情報館に寄贈しませんか。

雑誌スポンサー制度

こんな寄贈方法もあります

新刊書をまとめて寄贈

「まとまった冊数の新刊書を寄贈したい」というとき、どのような本が良いか、情報館で相談に応じます。例えば、絵本や児童書、文字が読みにくい人のための「大活字本」、国際理解を深めるための本など、さまざまなジャンルや種類があげられます。何かの記念や機会に、情報館に寄贈しませんか。

平成31年度の各種健（検）診について



申込書の配布・提出方法が変わります

問合せ：健康づくり推進課成人保健係 ☎757-9764

申込書は全世帯に提出

市は市民の各種健（検）診の受診状況を把握し、健康づくりの施策に活用しています。そのため、申し込みの有無に関わらず、必ず対象となる人全員から申込書の記入をしていただきます。

- 発送予定日 2月8日（金）
- 提出期限 2月28日（木）
- 提出方法 郵送、または健康づくり推進課成人保健係（本庁舎1階10番窓口）および各支所市民課に持参



※写真はイメージ

今年から

郵送

郵送もしくは市役所へ持参

昨年まで

各市政事務嘱託員

各市政事務嘱託員

配布方法

提出方法

各種健（検）診申込書の配布・提出方法が次のように変わります

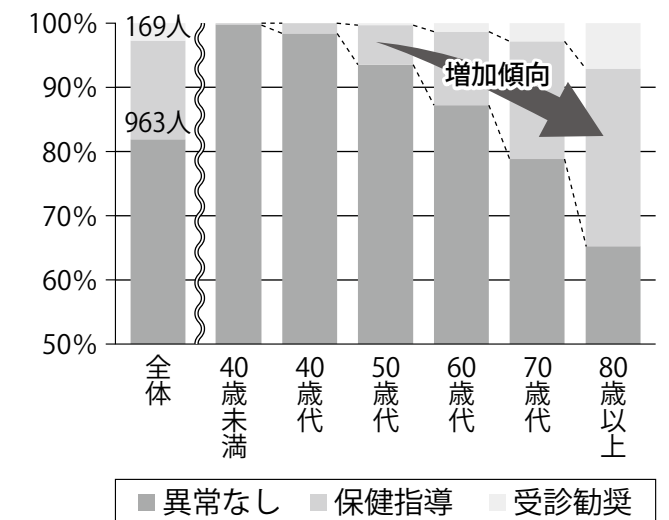
今年度の健診結果はいかがでしたか？

生活習慣を見直して慢性腎臓病を予防しましょう

今年度から住民健診に腎機能を評価するeGFRが追加されました。その結果、受診者6,248人のうち、963人（15.4%）が日常生活の見直しが必要な「保健指導」、169人（2.7%）が受診が必要な「受診勧奨」と判定されました。年齢が高くなるにつれ、その割合が増加します（右表参照）。皆さんの健診結果はいかがでしたか。

慢性腎臓病は重症化すると人工透析や脳卒中、心筋梗塞などに繋がります。予防には定期的に健診を受け、生活習慣を見直すことが大切です。食生活の改善（減塩、腹八分目でよく噛む、バランスよく栄養をとる、お酒を飲みすぎない など）と運動（いつもよりも多く歩く、筋力トレーニングを行う など）で肥満を解消し、禁煙にも取り組みましょう。血圧が高めの方は、血圧の管理をしましょう。

平成30年度住民健診の腎機能（eGFR）の結果



※市報11月10日号で、慢性腎臓病や糖尿病のことを特集しています。合わせてご覧ください

冬季うつ病について

Pick Up



あなたのところは元気ですか？

●●●●●問合せ：健康づくり推進課成人保健係 ☎757-9764

冬季は注意

日照時間が短くなるため、セロトニンの分泌が不足し、体内時計の調整がうまくできなくなります。

その結果…

- 体温・血圧・呼吸などの自律神経リズムや休息・活動や睡眠・覚醒のリズム、ホルモンの分泌などが乱れる
- 疲れやすい、食欲が抑えられない、気力が落ち込むといった症状が現れやすくなる

こころを元気に
保つために、規則正しい
生活を心がけましょう

うつ病はこころの風邪といわれ、誰もがかかる恐れのある身近な病気です。特に、秋から冬の間に日常生活に支障をきたすほどのうつ症状は「冬季うつ病」と呼ばれています。早めに気付いて対処すれば回復します。我慢せずに相談しましょう。

冬季うつ病を疑うサイン

- ① 普段より睡眠時間が長くなったり、朝起きられなくなったりする。 ☐
- ② 食欲が増す。 ☐
- ③ 気分が沈む・落ち込む。ふとしたことで泣いてしまう。 ☐
- ④ やる気が起きない。つい自分を責めてしまう。 ☐
- ⑤ 頭痛、肩こり、体の動きにくさ、だるさがある。内科にかかったが「特に悪いところはない」と言われた。 ☐
- ⑥ 物事の順序が考えられない。物事に集中できない。 ☐
- ⑦ 仕事・家事など、以前できていたことができなかった。 ☐
- ⑧ 飲酒量が増えた。 ☐

このような状態が続くと、うつ病のリスクが高まります。症状が **2週間以上続いているときは**、専門医に相談しましょう。

こころの相談窓口

新潟県こころの健康ダイヤル

毎日24時間、相談を受け付けています。

【ナビダイヤル】

なやみなしにいがた

☎ 0570-783-025

こころの相談会

精神科医や臨床心理士に相談できます。人間関係や家庭問題などで悩んでいる人、不眠や気分の落ち込みがある人などの相談に応じます。相談は無料・予約制で、秘密は守られます。

☎健康づくり推進課（☎757-9764）

または十日町保健所（☎757-2402）

このほか、市の保健師や保健所の精神保健福祉相談員も随時相談に応じます。詳しくは、健康づくり推進課・各支所市民課・十日町保健所へ問い合わせてください。

Q1

あなたの会社のお仕事、会社の強みは？

国や自治体から発注される公共事業などに必要な測量や設計、補償コンサルタント業務を行っています。数年前からはUAV（ドローン）を導入し、写真測量や空撮サービスなどの測量に関する幅広い仕事を行っています。

Q2

この仕事を始めたきっかけは？

高校生のときに、人の役に立つ仕事がしたいと思うようになりました。それで郵便局に勤め、配達や金融などの幅広い業務を担当していましたが、防災や災害復旧などの違った形で地域のために働きたいと思い、測量業務を担う当社に入社しました。

Q3

これまでに苦労したことを教えてください

高校は文系だったので、数学の知識を必要とする仕事に慣れるまで時間がかかりました。また、山間部などの厳しい地形のところで測量を行うことも多くありますので、体力面でも慣れるまで苦労しました。

Q4

この仕事で培った技術ややりがいはいは？

入社してから、測量士補という国家資格を取得しました。現在、測量士の資格取得に向けて、勉強しています。市内だけでなく、地震や豪雨などの自然災害が起こった被災地で、復興・復旧に必要な事業の測量をすることもあります。測量が完了し、実際に工事が始まったときには達成感を得られます。



vol.9

語る 仕事・会社・
十日町市への思い

産業政策課
商工振興係
☎757-3139

Q5 今後の抱負を聞かせてください

測量士のほかにも、業務に必要な資格の取得が目標です。早く自分の得意分野を持ち、実際の仕事に生かせる資格取得を目指しています。

協力
企業

■苗場建設サービス株式会社

- ・測量業
- ・従業員12人
- ・十日町市伊達甲1696-9（☎758-4300）

掲載希望事業所を
募集します!!

- ・従業員同士の意思疎通がとてもよく、協力・連携がとれています。社員の信頼関係を大切に、チームワークで業務に取り組み、品質向上と納期短縮に努めています



市民サービスの向上を目指す新たな協定を締結

11月26日(月)：市役所本庁

市と日本郵便株式会社は、「十日町市と十日町市内郵便局との包括的連携に関する協定」を締結しました。この協定は、「選ばれて 住み継がれるまち とおかまち」の実現に向け、市内郵便局の人的・物的資源を有効に活用して、地方創生の推進と市民のくらしの満足度向上に寄与することを目的とするものです。同社の青木代表主幹地区統括局長からの申し出がきっかけで、本協定の締結が実現しました。

これまでも市内郵便局は、観光資源を題材としたフレーム切手や絵はがきの作成、高齢者の見守りサービス、証明書交付サービスなどに取り組んでいます。今回の協定締結で、今後もあらゆる分野で日本郵便株式会社と市が協力し、市民サービスの向上につながることが期待されます。

勇気ある行動が尊い命を救う

12月18日(火)：消防本部

NPOネージュススポーツクラブの職員である高橋慶^{けい}さん（35歳）と南雲啓太さん（31歳）に、十日町地域救急業務連絡協議会（会長吉嶺文俊十日町病院長）から感謝状が贈呈されました。2人は昨年9月、勤務する市総合体育館内において、運動中に突然倒れた女性に対し胸骨圧迫（心臓マッサージ）やAEDによる除細動などを行い、消防救急隊が到着するまでの間、協力して適切な救命処置を行いました。女性はその後病院に搬送され、無事に退院して社会復帰しました。

仕事柄もあり、年に1回は救命講習を受講しているという高橋さんと南雲さん。高橋さんは、「今回、私たちが受けた表彰によって、一人でも多くの人が救命について関心を持ち、そして講習を受講するきっかけとなってもらえればうれしいです」と感想を語りました。



写真左：南雲さん、右：高橋さん

今シーズンの安全と繁盛を祈願

12月18日(火)：松之山温泉スキー場

本格的なスキーシーズンが到来し、オープンを間近に控えたこの日、松之山温泉スキー場で安全祈願祭が行われました。式には40人の関係者が出席。宮司が一連の神事を執り行い、関係者一同で今シーズンのスキー場の安全と繁盛を祈願しました。

松之山温泉スキー場はスキーやスノーボードだけでなく、エアボードやスノーバイクなど、さまざまなスノーアクティビティを楽しむことができます。市から同スキー場の指定管理業務を請け負う、有限会社湯米心まつ^{ユーマイハート}のやまの常務取締役村山英明さんは、「スキー場を一つのアクティビティフィールドとして考えています。スキーやスノーボードができない人も、気軽に長靴で遊びに来てください」と話してくれました。



若い力と感性で、松代に新たな風を

松代地域

昨年11月から、松代地域の「地域おこし協力隊」として、新たに細田浩貴隊員（青森県出身・26歳）と小陳泰平隊員（東京都出身・25歳）の2人が委嘱されました。細田隊員は室野・奈良立・福島集落で、小陳隊員は峠・竹所・木和田原集落で活動しています。

細田隊員は「地域の魅力を住民の皆さんと共有し、担当地区と一緒に盛り上げていきたい」と、小陳隊員は「住民の皆さんのニーズに寄り添いながら、棚田や伝統行事などの地域資源を生かし、地域の活気づくりに貢献したい」と、意気込みを話しました。



11月1日の委嘱状交付式にて
(写真中：小陳隊員、右：細田隊員)



本庁舎に掲出された懸垂幕

東京2020オリンピック出場を力強く後押し

12月7日(金)：市役所本庁

服部勇馬選手（中里中出身・トヨタ自動車所属）は、昨年12月に行われた第72回福岡国際マラソン選手権大会において、好記録で見事優勝。この結果、今年9月に行われる東京2020オリンピック代表選考会「マラソングランドチャンピオンシップ」への出場権を獲得しました。

これを祝い、そしてオリンピック出場を後押ししようと、この日市陸上競技協会と中里スポーツ後援会が主体となり、服部選手応援のための懸垂幕を市役所本庁（保健センター）および中里支所などに掲出しました。市役所本庁の掲出に立ち会った市陸上競技協会の南雲政治会長は、「オリンピック出場に一步近づいたと感じます。このときだからこそ、市民一丸となって服部選手を応援したい。そこで、皆さんから協力してもらい懸垂幕を掲出することとしました」と話し、雪国十日町市から育ったランナーのさらなる飛躍に、期待をにじませていました。



「親しい友人」とともに、東京2020オリンピック・パラリンピックの舞台へ

11月27日(火)：市役所本庁

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 クロアチア共和国十日町市事前キャンプ協定書締結式」が行われました。式には、クロアチア共和国からオリンピック委員会ズラトコ・マテシャ委員長とドラジェン・フラスティッチ駐日大使が参加しました。この協定締結により、市内での同国事前キャンプ実施が決定し、本格的な準備がスタートします。今後は双方で協議を重ね、実施種目や日程、場所など詳細を決定します。

締結後に、マテシャ委員長は「今日は、親しい友人を訪ねるような気持ちで来ました。事前キャンプはクロアチアの選手にとって、十日町市との交流の第一歩です。この交流関係が深まるよう、努めましょう」とあいさつ。フラスティッチ大使は「十日町市のスポーツだけに収まらない、幅広いサポートに感謝します。私たちはいつでも十日町市のパートナーです」と感謝の言葉を話しました。



写真左：フラスティッチ駐日大使
中：マテシャ委員長、右：関口市長

未来の有権者たちへ「18歳になったら、選挙へ行こう」

12月7日(金)：西小学校

西小学校（小林圭介校長・児童284人）で、県および市の選挙管理委員会の共催による「明るい選挙出前授業」が行われました。市内小学校では初めての取り組みで、今回は6年生児童58人が参加しました。

授業は、講師の県・市選挙管理委員会職員からの説明に続き、グループワークや模擬選挙を実施。グループワークは、「公園を作る」ことをテーマに児童がさまざまな立場の人になりきり、どんな公園にするか意見を出し合い、多くの人が政治参加することの重要性を学びました。模擬選挙は、実際に使われる機材も使用して「卒業式で歌う曲を決める」投票を行い、投票から開票までを本番さながらに体験しました。児童は「選挙や政治の大切さが良くわかりました」、「模擬選挙は緊張したけれど、投票は難しいものでないことがわかったので、18歳になったら投票に行きたいです」など、感想を話してくれました。



模擬選挙の様子

表彰おめでとうございます

文部科学大臣表彰

岡山県総社市山手小学校との相互交流への地域住民の参画、「笹山じょうもん市」への全校児童が参加していることなどが評価されました。



中条小学校地域学校協働活動

写真左：やまて中条交流実行委員会／須藤一也事務局長、中：中条小学校／佐藤茂幸校長、右：中条地区振興会／庭野三省会長

県知事表彰・賞 それぞれの分野で活躍された皆さんが表彰・受賞されました。

〔地方自治功労者〕



庭野 政義さん（70歳・本町7－1）

〔歯科保健功労者〕



阿部 一彦さん（60歳・新座2）

〔健康づくり功労者〕



南雲 ハルエさん（86歳・中仙田）

〔体育功労者〕



井之川 将男さん（81歳・通り山）

〔善行功労者〕



県赤十字安全奉仕団十日町市分団

〔第66回たすけあい作文コンクール〕 県知事賞（最優秀賞）



吉樂 美夏野さん（十日町小6年）

むかしがたりの会

馬場小学校2年生の児童が、方言を交えて十日町に伝わる「むかしばなし」を語ります。

日 1月26日(土)午前10時20分～11時20分

会場 情報館

内 七ツ釜、ねじり杉、熊石権現、鉢の石仏など

間 馬場小学校（☎758―2069）

新春寄席 瀧川鯉橋独演会

【第21回初笑い下条寄席】

日 1月26日(土)午後1時30分

※開場午後1時

会場 利雪親雪総合センター

¥1800円（前売り1500円）、中学生以下千円

● チケット取り扱い・問下条公民館（☎755―2004）

【第27回初笑い上野寄席楽集】

日 1月27日(日)午後2時※開場午後1時30分

会場 上野集会場

¥1800円（前売り1500円）※飲み物・お楽しみ

付

● チケット取り扱い・問食料品と惣菜の店・だいも（☎768―3630）

六日町商工会青年部婚活イベント 「愛♡席居酒屋」

お酒や食事を楽しみながら、男女の交流を楽しむイベントです。詳細は六日町商工会ホームページをご覧ください。

日 1月26日(土)午後6時30分～8時・8時30分～10時※2部制

● チケット取り扱い・会場

にわ茶屋、食InnBar、ぶら坊、駅前食堂、魚沼イタリアンバル、エバーラスティング、割烹中央楼

対 20歳以上

¥男性5千円、女性2千円

● チケット販売期間 1月22日(火)まで

問 六日町商工会・南雲（☎025―772―2590）
※平日午前8時30分～午後5時

まちなかステージ行事予定表（1月15日～2月14日）※「要申込」以外は申込不要

市民交流センター分じろう 問☎750-7770（本町2）

十日町おもちゃ病院（市社会福祉協議会）
日 1月19日(土)午前10時～午後3時（受付午後2時まで）
会 ルーム1

とおか市（NPOにぎわい）
日 1月20日(日)・2月10日(日)午前9時～午後1時
会 マーケット広場

お茶にしようじゃねえ会『“依存症”からの回復「回復への道」』（フォルトネット）
日 2月2日(土)午後1時30分～3時30分
会 ルーム1・2 ¥300円

話し合いのスキル勉強会（NPOひとサポ）
日 2月7日(木)午後7時～9時
会 ルーム2 ¥1,500円 ※要申込

● 分じろうまちの文化歴史コーナー はっかけ HAKKAKE

フクベ（夕顔瓢）
日 2月4日(月)午前9時～午後5時
ワダラ
日 2月6日(水)～4月1日(月)午前9時～午後5時

市民活動センター十じろう 問☎750-7771（本町3）

アニメ関連フリーマーケット（アニメフレンズ）
日 1月20日(日)午前10時～午後6時
会 ギャラリー

地元から芸術祭を盛り上げよう!!
地元サポーター・こへび隊
活動日誌



こへび隊
てしぎ りょうこ
手代木 良子さん
（東京都・30歳代）



JISAPO

Facebookあります



こへび隊

地元
サポーター
こへび隊通信
28

連載コーナー



「赤倉の学堂」での受付業務



芸術祭プレイベントにて

■ 問合せ＝観光交流課芸術祭企画係 ☎757-2637

●雇用予定期間／定／内
① 1月10日～3月31日午前10時30分～午後5時／1人／受付窓口、書類整理、パソコン入力など
② 2月1日～3月31日午前9時～午後3時30分／2人／書類整理、パソコン入力など
③ 2月12日～3月31日／午前9時～午後3時30分／5人程度／書類整理、パソコン

十日町税務署
アルバイト職員募集

募 集

30分～2時20分、中級…午後2時40分～3時40分
定 初級・中級各50人
持 受検票・筆記用具
※ 2月15日(金)必着
会・申・問 往復ハガキの往信欄に希望する検定級・住所・氏名・電話番号を、返信欄には送付先の郵便番号・住所・氏名を明記して、〒948-0072 十日町市西本町1丁目382-1 博物館へ(☎757-5531)

平成31年産
新潟県特別栽培農産物認証制度
地域の慣行栽培と比べて、農業・化学肥料を5割以上減らして栽培した農産物を、この制度により認証しています。現在、取組者を募集しています。
※ 2月1日(金)※栽培開始が4～8月のもの
申 農業振興事務支援センター(JA十日町営農生活セン

入力など
④ 2月4日～3月15日／午前9時～午後5時のうち6時間30分／6人程度／相談会場のパソコン操作補助
対 パソコン操作ができる人(面接時にパソコン操作の簡単な実技試験を実施)
● 賃金 Ⅱ時給880円※交通費別途支給
● 応募方法・問 Ⅱ履歴書(3か月以内に撮影した正面向き上半身写真を貼付)を持参または郵送で、〒948-0502 本町1丁目上1番地18 十日町税務署総務課・石黒へ(☎752-1318) ※詳細は問合せ

「とおかまち発」新しいビジネスが生まれています

12月22日に、十日町市ビジネスコンテスト「トオコン2018」が開催され、「創業部門」、「学生アイデア部門」の2部門においてビジネスプランが発表されました。幅広い年代から、事業化を目指した熱いプレゼンテーションが繰り広げられ、会場は盛り上がりました。結果は以下のとおりです。今後は、発表者により事業化が進められます。



●結果＝プラン名／発表者（敬称略）

創業部門	最優秀賞	ニイガタ サケ ツーリズム アンド エデュケーション Niigata SAKÉ Tourism & Education / Global Communications CONNECT 代表 デュケット智美
	優 秀 賞	「星峠の棚田」を未来に繋げるプロジェクト／株式会社ひみつ基地設計 くめい 衆井貴志
学生アイデア部門賞		コーキ 「Kōki」(コシヒカリ米からできたフェースマスク)／長岡技術科学大学チーム:シャイン (代表:ヌル アデリン)
オーディエンス賞		十日町で生きていくということ ～only one～ オンリー ワン い こ て ウェディング IKOTE wedding / 株式会社フラワーホーム 藤田真理子

※公式ホームページ (http://toocon.jp/) でも紹介しています。受賞プランのほか、トオコン出場プランの事業化には、市の補助金が活用できます
☎産業政策課商工振興係 (☎757-3139)

「森の学校」キョロロ
1月15日～2月14日の里山体験プログラム

日時／テーマ	
1月19日(土) 午後1時30分～4時／雪虫調査(無料) 定10人	
1月26日(土) 午前8時30分～11時30分／探鳥会(無料)	
1月20日(日)・27日(日)・2月3日(日)・2月11日(祝) 午後1時～2時30分／里山の生き物探検 定20人	
2月2日(土) 午前10時～正午／ブナの森のようちえん(無料) 定家族10組	
2月9日(土) 午後1時～4時／草木染で里山の色探し(無料) 定15人	
2月10日(日) 午前10時～正午／十二講	

※小学3年生以下は保護者同伴

- 入館料=500円、小・中・高生300円(市内小・中学生は無料)
- 参加費=500円、小・中・高生300円
- 集合場所・問キョロロ☎595-8311

第60回 川治地区新年娯楽大会
2月2日(土)午後0時30分～午後5時ごろ※受付正午～
内 囲碁・将棋・花かるた・百人一首・麻雀※入賞者には賞品・参加賞もあり
対 市内在住の人※麻雀は高校生以下不可
¥ 高校生以上千円、中学生以下無料
他 昼食を済ませてから参加してください。申し込みの少ない種目は中止することがあります
※ 1月29日(火)
会・申・問 川治公民館(☎752-2223)

笹山縄文カレッジ
火焰型土器チョコ作り
火焰型土器の破片からとった型にチョコを流し込んで、本物そっくりのチョコを作ります。
日 2月3日(日)午前10時～正午
会 笹山縄文館
¥ 200円
定 15人
講 小林優香さん(伊乎乃の里・縄文サポートクラブ会員)
※ 1月27日(日)
申・問 住所・氏名・電話番号・人数を博物館へ(☎757-5531)

火焰街道博学連携プロジェクト巡回展
子ども縄文研究展2018
「縄文のメッセージ・私のメッセージ」
半年間の総合学習の成果として、壁新聞や実験製作した土器などを展示します。日本文化の源流・縄文から未来につながる学びの成果をご覧ください。
日 2月17日(日)まで
¥ 300円
会・問 博物館(☎757-5331)
プラネタリウム
ドーム中里きらら
2月の番組情報です。
日 毎週(日)午前11時～11時45分
内 今夜の星空・ナナとハチ
問 中里公民館(☎763-2493)
第11回 縄文楽検定
「縄文」と「火焰型土器」をテーマにした縄文検定(初級・中級)を実施します。検定内容などは問い合わせてください。
日 3月3日(日)初級…午後1時

第70回 十日町雪まつり 追加情報

※ツマリアンボール出場チーム募集

3チーム同時に対戦する雪上バレーボールです。
日 2月17日(日)
会 コミュニティひろば(十日町高校グラウンド)
¥ 1チーム4,000円(応募多数のときは抽選)
※ 1月28日(月)午後5時必着
申・問 申込書(事務局に配置。ホームページでも入手可)を郵送または持参で十日町雪まつり実行委員会事務局(☎757-3100)



※コミュニティひろば ボランティア募集

一緒に汗をかいて感動を共有しましょう。
日 2月4日(月)～18日(月)
対 高校生～40歳くらいの健康な人
内 雪上茶室・すべり台などの作成・運営
※ 2月3日(日)
申・問 公益社団法人十日町青年会議所事務局・蕪木(☎757-5111)



福祉・健康

2月の全血献血

予定はありません。

健康づくり推進課母子保健係
(☎757-9759)

応急手当講習会 救命入門コースⅠ

日 2月8日(金)午後7時〜8時30分

定 30人

内 心肺蘇生法、AEDの取り扱い

会・申・問 消防本部警防課救急室(☎757-1558)

にいがた・新テーマ型募金

従来の共同募金運動期間が終了したあとの3か月間を利用し、「募金・助成の新しい形」として、活動費の一部を共同募金会と一緒に集め、課題解決に向けた取組みの強化を図るものです。市内では、ひきこもりなどを支援する「フオルトネット」が、この制度にエントリーしました。多くの人からの支援と協力をお願いします。

【申請書事前内容確認会】

日／会 1月22日(火)午後6時〜7時／十日町地域振興局、23日(水)午後1時30分〜3時／十日町地域振興局、24日(木)午後1時30分〜3時／中里支所

内 申請書類の記入方法の確認や疑問点について

●相談・問 農業振興事務支援センター(☎761-7144) または十日町地域振興局農業振興部(☎757-5518)

魚沼テクノスクール 2月入校生募集 事務基本科簿記入門コース

日 2月15日(金)〜6月11日(火)午前9時〜午後3時40分

会 キヤリア・ステップ魚沼教室(魚沼市)

対 パソコンの基礎知識・操作および簿記会計スキルを習得し、就職を希望する人

¥ 無料※ただし、テキスト代・受験料など自己負担あり

定 15人

✕ 1月24日(木)

申 ハローワーク十日町

問 県立魚沼テクノスクール(魚沼市・☎025-794-2410)

第3期コンピュータ講習 町内役員お助けコース

ワードでの文書作成や、画像・図形を使った資料の作成を学びます。また、エクセルで基本となる計算や、請求書の作成なども行います。

日 2月19日〜3月15日までの毎週(火)・(金)午後7時〜9時 ※全8回

対 ワード・エクセルを初めて使う人

¥ 8千円

定 15人※5人以下は中止のときあり

✕ 2月16日(土)

会・申・問 電話やFAXで郵便番号、住所、氏名、電話番号を情報館へ(☎750-5100、F750-15103)

上越テクノスクール 人を惹きつける信頼される話し方講座

自分の考え・思いが相手に伝わる話し方のテクニックや、印象アップ術を学びます。

日 2月13日(水)・20日(水)午前9時〜午後4時

¥ 2400円

定 10人※多数のときは抽選

✕ 1月30日(水)

会・申・問 県立上越テクノスクール(上越市・☎025-545-2190)

市高等職業訓練校 31年度入校生募集

在職者・求職者の職業能力を支援するため、次のコースを実施しています。

●科目Ⅱ 建築製図科(2級建築士養成)、コンピュータ科、ワープロ科(ワード入門・応用)、表計算科(エクセル入門・応用)、経理事務科、測量科、建築科(1級技能士養成)

●受付時間Ⅱ 午前8時30分〜午後5時※(土)・(日)・(祝)除く

✕ 3月15日(金)

申・問 入校申込書と証明写真1枚(建築製図科のみ)を市高等職業訓練校へ(☎752-3803)

平成31年度 十日町市奨学生を募集します(貸与型奨学金)

●奨学金月額＝
高等学校……………1万円
高等専門学校…2万円
専修学校……………3万円
大学・短大……………3万5,000円

●入学準備金額(平成31年度入学予定者のみ)＝
高等学校……………20万円
高等専門学校…30万円
専修学校……………30万円
大学・短大……………50万円

●貸与期間＝平成31年4月から最短修業年限の終わりまで(無利子)

●提出書類＝
①奨学金等貸与願書
②在学(卒業)学校長の推薦書
③成績証明書
④世帯の中に平成30年1月2日以降に市内に転入した人(ただし、小・中学生や高校生

●奨学金月額は、次のとおりです。
①奨学金月額は、次のとおりです。
②奨学金月額は、次のとおりです。
③奨学金月額は、次のとおりです。
④奨学金月額は、次のとおりです。

●奨学金月額は、次のとおりです。
①奨学金月額は、次のとおりです。
②奨学金月額は、次のとおりです。
③奨学金月額は、次のとおりです。
④奨学金月額は、次のとおりです。



平成31年度 市内で働く看護師などの修学生を募集します

●貸与月額＝2万5,000円

●貸与期間＝平成31年4月から最短修業年限の終わりまで(無利子)

●提出書類＝貸与申請書・健康診断書・保証書・口座振込申込書(以上、市ホームページから入手可)・学業成績表

他 養成施設卒業後に資格を取得し、引き続き市内でその業務に従事したとき、その期間などにより修学資金の返還が免除になることがあります。詳しくは問い合わせてください。

✕ 2月28日(木)

申・問 医療介護課 医療・おとしより支援係(☎757-9758)

対 平成31年度に、次の養成施設に進学または在学する人で、将来市内でその業務に従事しようとする人※市の奨学金を受けていないこと

・看護師
・准看護師
・保健師
・助産師
・理学療法士

・作業療法士
・言語聴覚士
・社会福祉士
・介護福祉士
・精神保健福祉士



月です。期限（1月31日）内に納めましょう。

● 市民生活課（☎757-3735）・福祉課（☎757-3757）

2月の休館日

● 段十ろう 11日(月)・25日(月)

● 千手中央コミュニティセンター 11日(祝)

● 情報館 1日(金)～5日(火)・25日(月)

● 博物館 4日(月)・12日(火)・18日(月)・25日(月)

● 松之山郷民俗資料館 休館

● まつだい郷土資料館・まつだい雪国農耕文化村センター（まつだい農舞台） 毎週(水)

● 市総合体育館 19日(火)

● 川西総合体育館 13日(水)・27日(水)

● なかさとアリーナ（中里体育館） 12日(火)

● 松代総合体育館 毎週(月)

● ひだまりプール 毎週(火)

● キヨロロ 毎週(火)

● 分じろう 毎週(火)

● 十じろう 毎週(火)

（☎757-2103）

平成31年度市入札参加資格審査の追加申請

平成31年度に市が行う建設工事や建設コンサルタントなどの業務、また物品購入の入札に参加を希望する事業所で、平成30・31年度の入札参加資格を有していない事業所は、参加資格審査の申請をしてください。必要書類などの詳細は市ホームページをご覧ください。

● 受付期間 2月1日(金)～28日(木) ※期間外は申請不可

● 資格有効期間 4月1日～平成32年3月31日

● 注意事項

・平成30・31年度の入札参加資格審査申請をしている事業所でも、入札参加希望業種を追加したときは、今回の追加申請で手続きをしてください

・平成32・33年度の入札参加資格審査申請は平成32年1月に受付予定です

・建設工事の入札参加資格審査申請には経営事項審査を受けていることが必須条件

「森の学校」キヨロロ 1月・2月の開館時間の変更

通常より1時間早い午後4時閉館となります（最終入館は午後3時30分）。あらかじめご了承ください。

● 点検期間 1月28日(月)～2月5日(火)

● 休止するサービス 情報館・分室の図書・雑誌・音声映像資料の貸出、情報館のコンピュータコーナー・音声映像資料コーナーの利用、集会室など施設の利用

● 図書などの返却 情報館と川西・松代分室はブックポストへ返却（音声映像資料、ブックポストに入らない大型絵本などは、点検期間後の開館日に直接返却）。ほかの分室は、公民館の職員に返却

● 情報館（☎750-5100）

です。詳細は県土木部監理課建設業室（☎025-280-5386）に問い合わせてください

・施設管理や清掃業務など業務の提供のみの業務は申請不要です（資格登録審査制度を設けていません）

● 財政課契約検査係（☎757-3114）

冬季無災害運動実施中 ストップ転倒災害

転倒災害の多発場所は、駐車場から事務所・作業場までの路面、事務所・作業場の出入口、段差・スロープなどです。すべりやすいところには、マットを敷いたり、注意表示を提示したりするなど、転倒災害防止対策を行いましよう。

● 新潟労働局労働基準部健康安全課（☎025-288-3505）

雪害からLPガス設備を守りましよう

雪害事故を防止するため、次のことに注意してください。

・LPガス容器やメーター周辺、屋外施設の給油器など

越後交通㈱ 路線バスの便利情報

路線バスをお得に利用できる、バスボートの販売を行っています。

● 休日乗り放題バス

休日限定で、大人千円・子ども500円で越後交通㈱の県内一般路線バスが乗り放題です。市外へのお出かけがお得になります。

例・十日町車庫前～長岡駅前

は、通常往復大人1620円のところ、千円となります。

● 対象日 土・日・祝および3月15日～4月7日、7月20日～8月31日、12月23日～1月7日のうち1日

● 注意事項 高速バスや臨時バスなどは利用できません。各バスポートが適用になる路線は、越後交通㈱のホームページ（<http://www.echigo-kotsu.co.jp>）をご覧ください。

● 販売窓口 越後交通㈱各営業所・各案内所・各バスセンター

● 越後交通㈱十日町営業所

は、雪に埋もれることがないように除雪しておく

・屋根の雪下ろしの際は、周囲のLPガス設備にも注意する

・排気筒や吸気口が雪でふさがれたり、排気筒に破損がないか点検する

※万一、ガス漏れや燃焼器具に異常があったときは、すぐに取引のあるLPガス販売店に連絡してください

● 県LPガス協会（☎025-267-3171）

農業用免税軽油の申請手続き

農業用トラクター、コンバインなどに使用する軽油は、1リットルあたり32・1円の軽油引取税を免除する制度があります。この申請を次のとおり受け付けます。なお、国税または地方税の滞納処分を受けてから2年を経過していない人などは、申請を受け付けることができます。

● 2月21日(木)・22日(金) 午前9時～正午・午後1時～午後4時

● 十日町地域振興局

● 提出書類（初めての人）

・農機の所有証明（販売店が発行する販売証明など）およびカタログ ※用意できないときは事前に相談

・耕作面積証明書（農業委員会が発行するもの）

・印鑑

・450円分の県収入証紙（十日町地域振興局では販売していません）

※引き続き申請する人は別途案内を郵送します。そちらを確認してください

● 他 免税が認められる軽油の量は、耕作面積などに応じた制限があり、平成33年3月までの特例措置です。制度の詳細などは問い合わせてください

● 南魚沼地域振興局県税部十日町収税課（☎757-5113）

「新潟県の雪情報」を利用してください

県では、降雪量予測情報などをホームページや携帯電話サイトで提供しています。詳しくは、インターネットから「新潟県の雪情報」で検索し

● 提出書類（初めての人）

・農機の所有証明（販売店が発行する販売証明など）およびカタログ ※用意できないときは事前に相談

・耕作面積証明書（農業委員会が発行するもの）

・印鑑

・450円分の県収入証紙（十日町地域振興局では販売していません）

※引き続き申請する人は別途案内を郵送します。そちらを確認してください

● 他 免税が認められる軽油の量は、耕作面積などに応じた制限があり、平成33年3月までの特例措置です。制度の詳細などは問い合わせてください

● 南魚沼地域振興局県税部十日町収税課（☎757-5113）

2月は司法書士による相続登記の無料相談月間

県司法書士会では、毎年2月の1か月間を「相続登記はお済みですか月間」と定め、県内各司法書士事務所での無料相談を実施しています。この機会に、お近くの司法書士事務所でお気軽にご相談ください。

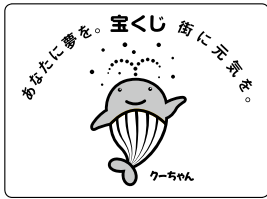
● 期間 2月1日(金)～28日(木)

※時間は各事務所の執務時間

コミュニティ助成事業報告

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、地域コミュニティ活動の充実・強化を図るため、宝くじの受託事業収入を財源とした「コミュニティ助成事業」を実施しています。今年度の当該助成金で実施した、市内の事業を紹介します。

● 企画政策課協働推進係（☎757-3693）



赤倉集落：テント・三味線・音響設備などの購入



川治地区振興会：音響・照明設備の購入



内になります。また、(土)・(日)の相談は、事前に相談したい事務所へ問い合わせてください

●1年を通じて、電話などによる無料相談にも応じています。詳しくは、問合せ先へ確認してください

新潟県Uターン促進奨学金返還支援事業

県では、新潟県内にUターン転職した人の奨学金などの

返還支援を行っています(平成30年4月からは対象者を拡大)。

●次の全てを満たすこと
・30歳未満で、県外から転入した
・大学などを卒業した後に、県外で一定の期間就業した
・Uターン後、6か月以内に県内で就業した

●支援内容 翌年度以降、引き続き県内での居住・就業を条件に、奨学金の返還額(年間20万円上限)を最長6年間支援

※支援総額はUターン転職時

の返還残額(元本分)の2分の1が上限
●申請 新潟県暮らし推進課U・Iターン促進班(☎025-280-5635)

働くことに悩む人のワン・ステップ相談

さまざまな理由で働くことに悩んでいる人の相談に応じます。

●2月12日(火)、19日(火)午前10時～正午
会 保健センター(市役所本庁舎隣)
申・問 福祉課福祉支援係(☎

757-9739)

教育相談

日(月) 金午前9時～午後5時(年末年始を除く)
会・問 教育センター(川西庁舎内) ☎756-5010

女性相談専用電話

日(月) 金午前8時30分～午後5時15分(祝日・振休・年末年始を除く)
●相談 ☎757-3701(市民生活課市民係内)

アプリ **マチイロ** で
市報とおかまち電子版を配信中

QRコードからダウンロードしてご利用ください(無料)

※閲覧中表示される広告について、市はその内容に一切の責任を負いません

市は十日町音声訳サークルに市報とおかまちの音声訳を委託し、ホームページでも公開しています。詳しくは企画政策課広報広聴係(☎757-3111)へお問い合わせください。

寄付ありがとう

※敬称略

●とおかまち応援寄附金＝石塚文男(川崎市)、山崎平三(東京都足立区)、飯塚義一(千葉県船橋市)、佐藤正壽(静岡市)、根津剛(東京都大田区)、高野政夫(東京都江戸川区)、佐藤正典(東京都文京区)、軽部重信(東京都世田谷区)、岩田美佐子(横浜市)、栗原利幸(東京都武蔵野市)、今井等(東京都杉並区)、大嶋豪(埼玉県深谷市)、金原輝史(山口県下関市)、元木正彦(東京都小金井市)、名波正義(兵庫県西宮市)、小林誠治(東京都世田谷区)、佐藤嘉夫(横浜市)、柴田光弘(栃木県宇都宮市)、久保田太輔(奈良県斑鳩町)、相楽喜一郎(東京都豊島区)、山本俊彦(東京都品川区)、杉森敦樹(静岡県浜松市)、遠藤千津子(新潟市)、後藤寿美子(東京都品川区)、市川陽一(東京都江東区)、平田一峰(茨城県古河市)、松本浩晃(富山県高岡市)、目黒雅也(川崎市)、植村豊(千葉県我孫子市)、エリソン アントニー(東京都渋谷区)、白田幸忠(福井県敦賀市)、入江靖(東京都杉並区)、米持大介(東京都新宿区)、高橋潔(千葉県我孫子市)

●情報館分＝西方幸男(川原町)、樋熊フサ子(新座4)、若月恵(千年)、上村真知子・華(川治下町1)、保坂希(田中町)、富井一秋(水沢2)、福岡美恵子(田麦)、福原典男(新座3)、田村陽一(大黒沢東)、関口郁民(川原町)、ホープ歯科クリニック(寿町2)、岐阜空襲を記録する会中島裕子(愛知県一宮市)、保坂芹花(田中町)、佐藤裕子(中屋敷)

●発達支援センターへ＝イオンリテール株式会社イオン十日町店(療育教材および玩具ほか)

〔情報館〕2月のテーマ図書

※テーマは一部変更したり追加したりすることがあります
問 情報館(☎750-5100)

一般向け

体を整える 「人生百年時代の『こころ』と『体』の整え方」「ゆらいだら、薬膳」など、健康について考える本を紹介します。
愛しいあひのひと 「牧水の恋」「私はあなたの瞳の林檎」など、いろいろな愛や恋をテーマにした本を紹介します。

児童向け

ぽかぽか あたたかい 「びっくりこたつ」「かぼちゃスープ」など、あたたかさを感じられる本を紹介します。
3時のおやつ 「ホットケーキのおうさま」「わんぱくだんのおかしなおかしや」など、おいしそうなお菓子が出てくる本を紹介します。

2月のちびっこひろば

すこやかランド

今年度の活動は終了しました。
問 段十ろう(☎757-5011)

なかよしランド

5日は「手形をとって遊ぼう」、19日は「お誕生日会」、26日は「ひなまつり」
日 5日(火)・12日(火)・19日(火)・26日(火)午前10時～11時
会 サンクロス十日町
対 未就園児とその保護者
問 段十ろう(☎757-5011)

いっしょにあそぼ

日 7日(木)・14日(木)・21日(木)・28日(木)午前10時～11時
対 未就園児とその家族
会・問 水沢公民館(☎758-3101)

橘にこにこルーム

1日は「節分の集い」。
日 1日(金)・15日(金)午前9時30分～11時30分
会 川西高齢者コミュニティセンター
対 未就園児とその家族
問 子育て支援センターえくぼ(☎768-2352)

わらべっこ

2月はお休みです。
問 服部(☎090-6968-3110)

ぼぼっこひろば

遊び場を提供しています。
日 毎週月・水曜日午前10時～午後3時
会 川西福祉センターはあとふる川西
他 飲食持ち込み可
問 川西地域振興会(☎768-4951)

十日町おやこ劇場

「わくわく・キッズ」
日 7日(木)・21日(木)午前10時45分～
会 段十ろう
¥ 2回無料※3回目から300円
持 飲み物・着替え
問 丸山(☎090-2548-0507)

おはなしの会「ふきのとう」

日 16日(土)午前10時～10時30分
対 乳幼児～小学3年生くらい
会・問 千手中央コミュニティセンター(☎768-2308)

おはなしひろば

2月はお休みです。
問 中里公民館(中里庁舎内) ☎763-2493)

読み聞かせの会「どんぐり」

2月はお休みです。
問 情報館(☎750-5100)

おはなし「たまたばこ」

日 14日(木)午前10時～11時
対 乳幼児とその保護者
会・問 情報館(☎750-5100)

おはなしびよびよ

日 9日(土)・16日(土)・23日(土)午前10時30分～11時
対 乳幼児とその保護者
会・問 情報館(☎750-5100)

おはなしたんぼ

日 9日(土)午前10時30分～11時
対 幼児～小学校低学年
会・問 情報館松代分室(☎597-2615)



◆2月の健康・福祉の相談

保健師による健康相談

日25日(月)午前9時30分～11時30分
会保健センター（市役所本庁隣）
申・問健康づくり推進課成人保健係（☎757-9764）

精神科医こころの健康相談

日26日(火)午後2時～4時
会松之山支所
☒2月21日(木)
申・問十日町保健所（☎757-2402）

臨床心理士こころの相談会

人間関係や家庭問題などの悩みを相談できます。
日25日(月)午後1時～3時
会保健センター（市役所本庁隣）
☒2月20日(水)
申・問健康づくり推進課成人保健係（☎757-9764）

遺族の集いと健康相談

日5日(火)午後2時～3時30分
会松代病院
申・問十日町保健所（☎757-2402）

アルコール問題を抱える人の集い

日14日(木)午後2時～3時30分
会松之山支所
申・問十日町保健所（☎757-2402）
手話奉仕員窓口配置

日6日(水)・20日(水)午前11時～午後3時
会・問福祉課（☎757-3782）

発達支援に関する相談

日(月)～(金)午前8時30分～午後5時15分（祝日・振休・年末年始を除く）
☒18歳まで
問発達支援センター（☎752-7270）

◆2月のそのほかの相談

行政相談

日／会8日(金)午前10時～正午／本庁相談室、20日(水)午後1時30分～3時30分／はあとふる川西
問市民生活課市民係（☎757-3116）

法律相談

日7日(木)・14日(木)・21日(木)・28日(木)午後1時30分～4時
会本庁相談室
申・問市民生活課市民係（☎757-3116）※要予約

2月の休日救急医

NHKデータ放送でも確認できます

●診察受付時間：午前8時30分～午後4時30分
（午後の診察開始時間は問い合わせてください）

期 日	医療機関名	住 所	電話番号
3日(日)	国保川西診療所	高原田（川西）	768-2034
	大淵内科クリニック	中条中町（十日町）	752-7155
10日(日)	国保川西診療所	高原田（川西）	768-2034
	池 田 医 院	本町西1（十日町）	752-2581
11日(月・祝)	国保川西診療所	高原田（川西）	768-2034
	山 口 医 院	下条中央通り（十日町）	755-2003
17日(日)	国保川西診療所	高原田（川西）	768-2034
	た か き 医 院	土市5（十日町）	758-2361
24日(日)	国保川西診療所	高原田（川西）	768-2034
	大 坪 医 院	四日町新田2（十日町）	757-6100

※12月から3月は休日当番医院でも診療を行っています
休日や祝日に急な発熱などで具合が悪くなったときは、応急手当を受けられます。保険証を忘れずにお持ちください。

インフルエンザなど予防接種と感染症診断後の登園・登校許可証について

休日救急診療センターは、休日における一次救急診療を行う機関であり、インフルエンザなど予防接種は行っていない。また、登園・登校の許可証の記入もできません。平日に、かかりつけ医や近くの病院へ問い合わせてください。

問医療介護課（☎757-9758）

電話による健康相談

とおかまち健康ダイヤル24
☎0120-108-221（市民専用）
※24時間・年中無休
※通話料・相談料無料

新潟県こころの相談ダイヤル

☎0570-783-025
※24時間・年中無休

定例年金相談

日14日(木)・28日(木)午前10時～正午、午後1時～3時
会クロステン
申・問日本年金機構六日町年金事務所（☎025-716-0802）※要予約

消費生活相談

日(月)～(金)午前9時～午後4時（祝日・振休・年末年始を除く）
☒悪質商法・買い物・契約で困っている人
他面接相談は要予約
申・問市消費生活センター（☎757-3740・☎752-4635）

多重債務相談

日27日(水)午後1時～4時※25日(月)までに要予約
会本庁相談室
内借金トラブル
問市消費生活センター（☎757-3740）

心配ごと相談

日随時受付
会・申・問社会福祉協議会（☎750-5010）

生活困窮者相談

日午前8時30分～午後5時15分（土・日曜日、祝日を除く）
会・問社会福祉協議会（☎752-7338）

子ども情報のひろば

2月の乳幼児相談

〔健康相談〕

期 日	会場・受付時間
6日(火)	千手中央コミュニティセンター 午前9時30分～11時30分
8日(金)	松代 子育て支援センター「すくすく」 午前9時30分～11時30分
13日(水)	中里 子育て支援センター「きらりん」 午前9時30分～10時30分
14日(木)	松之山 子育て支援センター「にこにこ」 午前9時30分～11時30分
26日(火)	保健センター（市役所本庁隣） 午前10時～11時15分

問健康づくり推進課母子保健係 ☎757-9759

〔育児相談ほか〕

期 日	受付時間	内容
7日(木)	午前10時～11時30分	身体測定・栄養相談 ※身体測定のみ午後3時30分まで
26日(火)	午前10時～11時30分 午後は予約制（要事前連絡）	育児相談 ※身体測定は行いません

会・問子育て支援センター「くるる」 ☎757-1008

離乳食教室

〔離乳のはじめてコース〕

日2月26日(火)
☒5～6か月児
●受付＝午前9時45分～10時
※直接会場へおいでください
会保健センター（市役所本庁隣）
持母子健康手帳・筆記用具
問健康づくり推進課母子保健係 ☎757-9759

子どもをむし歯から守る ブラッシング相談

日2月6日(水)午前9時30分～11時30分
会千手中央コミュニティセンター
☒未就学児とその保護者
持歯ブラシ・母子健康手帳・タオル
問川西支所市民課市民係 ☎768-4956

2月の乳幼児健診

会保健センター（市役所本庁隣）

持母子健康手帳・問診票・フッ化物歯面塗布希望確認票（1歳6か月児）・視聴覚アンケート（3歳6か月児）・健やか親子21に基づくアンケート（4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児）着替え・おむつなど

※3歳6か月児健診は事前に検査セットを送ります。届かない人は母子保健係へ連絡してください
※2歳6か月児の歯科健診は親子健診です。保護者も歯みがきをしてきましょう

事業名	期 日	受付時間	対象児
4か月児健診	27日(火)	午後1時～1時30分	30年10月生まれの乳児
10か月児身体測定	28日(水)	午前9時～9時30分	30年4月生まれの乳児
1歳6か月児健診	20日(火)	午後1時～1時30分	29年7月生まれの幼児
2歳6か月児身体測定	20日(火)	午前9時～9時30分	28年8月生まれの幼児
3歳6か月児健診	19日(火)	午後1時～1時30分	27年8月生まれの幼児

問健康づくり推進課母子保健係 ☎757-9759

あいどるきゃす 161



波形

ゆうき 咲希ちゃん（4歳）
ちやん（2歳）
魚之田川

姉の咲希ちゃん（写真左）は、女の子らしく、かわいらしい服を自分で選びます。弟の勇希ちゃん（右）は、保育園に通い出してから、言葉が豊かになりました。ときどきけんかにもなりますが、お互いのことを大好きな姉弟。そんな2人の名前につく「希」の文字には、希望を持って成長してほしいという、両親の思いが込められています。



地域おこし協力隊
峠地区担当



福島 有理沙

地域のみなさんの生きる力には圧倒されっぱなし！「ここで生きていくんだ」という覚悟が、数百年にわたり星峠の棚田を維持してきたのだと感じます。棚田には畑があり、山の幸があり、四季を通して集落の生活を支えています。ご来訪の際は、集落の人を見かけたらぜひ声をかけてくださいね！



- ①春先の苗代づくり。その道50年の美しい仕事ぶり
- ②おむすび販売には星峠特別ブレンド米を使用
- ③限定14日間の販売にもかかわらず、完売が続いた「たなだ御結び」
- ④冬囲いイベント終了後、集落から感謝の気持ちを込めた交流会。地元食材に舌鼓
- ⑤小正月行事。煙が高く上がった年は豊作になるとの言い伝え
- ⑥鍋立山の春。カタクリが咲く道を散策

「耕して天に至る」とも形容される星峠の棚田。約300年以上も前から、峠集落のご先祖たちの手により耕され続けてきました。が、高齢化、後継者不足で維持が難しくなっています。また、年間1万人以上が訪れる棚田にもかかわらず、住民と来訪者が交わる機会ほとんどありません。棚田の現状を多くの人に知ってもらおうべく、今年は2つの取組みを行いました。

まず、芸術祭期間中の「たなだ御結び」の販売です。酷暑の中、大勢の人から立ち寄ってもらい、お米の味とお母さん方との触れ合いを喜んでいただきました。もう一つは外部の方からも参加していただいた冬囲い作業。例年は集落の委員のみで行う棚田見学の看板・柵外ですが、人手が多かったため短時間で作業を終えることができました。

このような取組みのほかに、芸術祭の作品制作を通じた日本大学との交流や、地域おこし協力隊の配属が続いていることなどもあり、地域に係わる若者が増えてきました。これまでに育まれた縁を大切にしながら、星峠の未来が拓かれるよう力を合わせて行きたいと思っています。

地域・集落全体で取組んでいる活動をぜひ紹介してください。問い合わせは企画政策課広報広聴係 ☎757-3112まで

元保育士の人もスタッフとして携わり、得意分野を生かして協力しながら活動しています。子どもと遊ぶことが好きな人のお手伝いも大歓迎です。



このとき
熱中&夢中
市民活動ネットワークひとサボが、旬な人・団体を紹介します。

129



毎週火曜日の午前10～11時にサンクロスなどで開催しています。現在、未就園児の親子27組が参加。親の仲間づくりや、情報交換の場にもなっています。



バス遠足などもあり、さまざまな経験や人との関わりを大切にしています。親子でたっぷりふれあう時間を持ち続けることで、表情の変化や成長を実感できます。2月23日(土)には、30周年記念としてあそび歌作家鈴木翼さんのコンサートを開催予定です（※詳しくは市報12月10日号24ページを参照）。

◆問合せ：段十ろう（☎757-5011）

親子のふれあいがんばるむ絆を大切に

「親子のふれあいを支援したい」と、未就園児とその親を対象に、毎週さまざまなお楽しみを提供しています。中央公民館事業として、現在は6人の市民スタッフとともに運営し、今年設立30周年を迎えます。普段の生活ではできない工夫を凝らした内容で、家庭教育をサポートしています。

なかよしランド（十日町市中央公民館事業）

レクリエーション指導者の資格を持つ根津明子さん（田川町2）たちが、ボランティアで行っていた活動が、大元となっています。平成元年から、公民館の「幼児家庭教育学級」と一緒にになり、現在の形式で運営されてきました。1年を通し、体操・手遊び・工作・音楽など、季節に合わせた多彩なお楽しみをスタッフで考え、実施しています。元参加者で、今はスタッフとして携わる富井朝子さん（六箇山谷）は、「活動を通し、子どもはもちろんその親も成長する姿を見ることが出来ます。そんなとき、とてもうれしくなります」とやりがいを語ります。体が続く限り参加したいと考えるスタッフの皆さんにとっても、この活動は楽しみや生きがいの一つで、それぞれの顔には喜びがあふれています。

誰もが気軽に参加できる環境づくりと、継続していくことを、何より大切にして活動しています。これからも、協力いただけるたくさんの方の皆さんとともに、親子の絆づくりを支援します。

活動を紹介したい団体を募集しています
ひとサボ ☎761-7444



ジュニア芸術祭

西小学校
163



瀧澤

菜月^{なつき}さん（1年）

くもにのつてにじのまち



かぞくやともだちとくもにのつたら、にじの町につきました。ゆうえんちやうみもあって、とってもたのしいです。みんなでたのしくあそんでいます。

スイミングでせおよぎのれんしゅうをしているところですよ。大きく手をのびしているようすや、ゆびの先までがんばってかきました。



せおよぎがんばるぞ

村山^{ゆうと}悠斗さん（2年）



2年生のときに家族で行った金かく寺をかきました。金かく寺が光って見えるように、色のごさを工夫しました。



思い出の金かく寺

大久保^{ゆきや}志哉さん（3年）



かがやくアイドル
樋口^{あすか}明日香さん（4年）



わたしはしょう来、アイドルになりたいので、夢がかなったすがたをかきました。服は、きれいな色を意きしてぬりました。

田村

円^{まひかり}さん（5年）

いつもありがとう



1年生のときにみんなで遊んだ、思い出の中庭です。絵の具に水を多くまぜて、点々ぬりで色を重ねました。上手に仕上がりました。

親善陸上大会の幅跳びをがんばっている様子です。躍動感や迫力が出るように、紙いっぱい身体のかくらみやおくゆきに気を付けてかきました。



自己ベストに向けて1cmでも遠くに!

保坂^{みなみ}美波さん（6年）

